

身体の歪みは、なぜいけないのか？

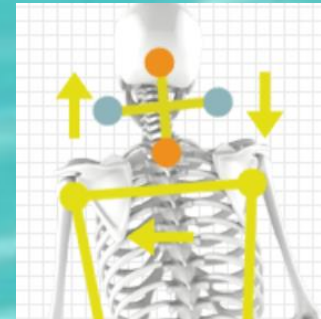
悪化

I. 骨格が歪んでくると、そのすぐ上についている 軟部組織(筋肉等)にも歪みが起こります。

突っ張って硬くなったり 逆に柔軟性がなくなったり

II. 筋肉が圧迫を受けると、そこを縫うようにはしっている、神経、脈管系 (動脈、静脈、リンパ管) が圧迫を受けます

しばらくすると



III. そこから支配神経を受けている内蔵、栄養をうけている内臓にも、当然影響が出て、検査をすると、きちんと数値で結果が出てきます。そこで、病名が付くわけですが 内科的処方が必要な状態です
それが長く続くと

IV. X線や CT・MRI 等で異常がはつきり分かる様になります

関節の変形、内臓破壊など、外科的な処置が必要な状態です

健康維持の為に身体のバランスを保つ事は欠かせません。

I. 逆に・・・身体の歪みを回復させる事により・・・

骨のすぐ上についている、軟部組織(筋肉等)のバランスが良くなり、

II. 軟部組織(筋肉等)を縫うようにはしている、神経、脈管系の圧迫が取れ、

III. 内臓機能も回復してくるのです。

回
復

S P A Tは様々な病の原因である「歪み」を心地良く取り去る事により

回復に導いてゆく治療です♪